

インドネシアと結び 「技能実習」セミナー 名古屋の社団法人

外国人技能実習制度で来日を目指すインドネシア人向けのオンラインセミナーが十八日、開かれた。外国人と企業をつなぐ活動などに取り組んでいる名古屋市一般社団法人「国際パートナーシップセンター（IPC）」が開催した。

IPCは三年前に設立され、企業関係者ら約十人で運営している。セミナーは日本の労働環境や生活について理解を深めてもらうと初めて企画。インドネシアとオンラインでつなぎ、現地からは日本語学校で学ぶ人ら約三十人が参加した。

司会は愛知教育大教授の

土屋武志さん(六三)が務め、実習生を受け入れている企業や福祉関係者、実習生らが日本で働く上でのアドバイスなどをした。

現地からは「日本の冬の厳しさを乗り越えるためにはどうしたらいいか」などの質問があり、春日井市内の企業で働く男性実習生は「寒いので家で日本語の勉強をしている。自転車通勤の人も多く、体力も必要」と話していた。